



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月9日

上場会社名 株式会社フジシールインターナショナル
 コード番号 7864 URL <https://www.fujiseal.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 COO (氏名) 城川 雅行
 問合せ先責任者 (役職名) IR担当マネージャー (氏名) 植田 将二郎 TEL 06-6350-1080

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	127,517	5.3	9,512	△0.9	9,682	6.7	5,442	△12.5
2021年3月期第3四半期	121,148	1.0	9,598	△1.4	9,075	△8.9	6,219	△12.6

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 6,347百万円 (17.0%) 2021年3月期第3四半期 5,424百万円 (9.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	99.36	—
2021年3月期第3四半期	111.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	157,902	106,658	67.5	1,948.04
2021年3月期	159,367	103,080	64.7	1,869.58

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 106,658百万円 2021年3月期 103,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2022年3月期	—	17.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	3.9	10,500	△15.5	10,600	△12.4	6,100	△27.2	111.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2022年2月9日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	60,161,956株	2021年3月期	60,161,956株
2022年3月期3Q	5,409,984株	2021年3月期	5,026,153株
2022年3月期3Q	54,769,031株	2021年3月期3Q	55,551,530株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2022年2月10日に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。

当日使用する決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに变更しております。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位で記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(追加情報)	10
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,275億17百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益95億12百万円（前年同期比0.9%減）、経常利益96億82百万円（前年同期比6.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億42百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

（単位：百万円）

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	121,148	127,517	5.3%
営業利益	9,598	9,512	△0.9%
経常利益	9,075	9,682	6.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,219	5,442	△12.5%
米ドル平均為替レート（円）	107.55	108.58	1.0%
ユーロ平均為替レート（円）	120.93	129.87	7.4%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、新中期経営計画の実行に向け、欧州におけるマネジメント体制を変更し、従来報告セグメントとして開示しておりました「PAGO」を「欧州」に統合しております。

また、品目別区分について、日本セグメントの「医薬等受託包装」を「その他」へ、米州セグメントの「その他ラベル」を「その他」へ、それぞれ従来の区分から変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分及び品目別区分に組替えた数値で比較分析しております。

（単位：百万円）

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
日本				
シュリンクラベル	34,217	35,108	2.6%	—
タックラベル	8,069	7,329	△9.2%	—
ソフトパウチ	12,292	12,710	3.4%	—
機械	3,937	3,988	1.3%	—
その他	10,523	9,887	△6.0%	—
売上高合計	69,040	69,025	△0.0%	—
営業利益	6,143	6,259	1.9%	—
米州				
シュリンクラベル	21,472	25,359	18.1%	17.0%
タックラベル	575	876	52.4%	50.9%
ソフトパウチ	634	401	△36.8%	△37.4%
機械	2,304	3,762	63.3%	61.7%
その他	1,133	990	△12.6%	△13.5%
売上高合計	26,119	31,390	20.2%	19.0%
営業利益	2,993	2,994	0.0%	△0.9%
欧州				
シュリンクラベル	9,116	10,079	10.6%	2.9%
タックラベル	5,069	4,977	△1.8%	△8.6%
ソフトパウチ	185	114	△38.1%	△42.4%
機械	5,311	5,725	7.8%	0.4%
売上高合計	19,683	20,896	6.2%	△1.1%
営業利益	158	110	△30.6%	△35.4%

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
アセアン				
シュリンクラベル	5,468	5,417	△0.9%	△1.9%
タックラベル	142	134	△5.4%	△6.3%
ソフトパウチ	5,999	5,928	△1.2%	△2.1%
機械	367	315	△14.3%	△15.1%
その他	161	168	4.2%	3.2%
売上高合計	12,140	11,964	△1.5%	△2.4%
営業利益	681	218	△68.0%	△68.3%

（日本）

シュリンクラベルは売上高351億8百万円（前年同期比2.6%増）、タックラベルは売上高73億29百万円（前年同期比9.2%減）、ソフトパウチは売上高127億10百万円（前年同期比3.4%増）、機械は売上高39億88百万円（前年同期比1.3%増）、その他は売上高98億87百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

その結果、日本全体の売上高は690億25百万円（前年同期比0.0%減）、損益面は営業利益62億59百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

（米州）

シュリンクラベルは売上高253億59百万円（前年同期比18.1%増、現地通貨ベース17.0%増）、タックラベルは売上高8億76百万円（前年同期比52.4%増、現地通貨ベース50.9%増）、ソフトパウチは売上高4億1百万円（前年同期比36.8%減、現地通貨ベース37.4%減）、機械は売上高37億62百万円（前年同期比63.3%増、現地通貨ベース61.7%増）、その他は売上高9億90百万円（前年同期比12.6%減、現地通貨ベース13.5%減）となりました。

その結果、米州全体の売上高は313億90百万円（前年同期比20.2%増、現地通貨ベース19.0%増）、損益面は営業利益29億94百万円（前年同期比0.0%増、現地通貨ベース0.9%減）となりました。

（欧州）

シュリンクラベルは売上高100億79百万円（前年同期比10.6%増、現地通貨ベース2.9%増）、タックラベルは売上高49億77百万円（前年同期比1.8%減、現地通貨ベース8.6%減）、ソフトパウチは売上高1億14百万円（前年同期比38.1%減、現地通貨ベース42.4%減）、機械は売上高57億25百万円（前年同期比7.8%増、現地通貨ベース0.4%増）となりました。

その結果、欧州全体の売上高は208億96百万円（前年同期比6.2%増、現地通貨ベース1.1%減）、損益面は営業利益1億10百万円（前年同期比30.6%減、現地通貨ベース35.4%減）となりました。

（アセアン）

シュリンクラベルは売上高54億17百万円（前年同期比0.9%減、現地通貨ベース1.9%減）、タックラベルは売上高1億34百万円（前年同期比5.4%減、現地通貨ベース6.3%減）、ソフトパウチは売上高59億28百万円（前年同期比1.2%減、現地通貨ベース2.1%減）、機械は売上高3億15百万円（前年同期比14.3%減、現地通貨ベース15.1%減）、その他は売上高1億68百万円（前年同期比4.2%増、現地通貨ベース3.2%増）となりました。

その結果、アセアン全体の売上高は119億64百万円（前年同期比1.5%減、現地通貨ベース2.4%減）、損益面は営業利益2億18百万円（前年同期比68.0%減、現地通貨ベース68.3%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,579億2百万円となり、前連結会計年度末と比べ14億64百万円の減少となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）が15億95百万円増加したこと、棚卸資産が11億4百万円増加したこと、有形固定資産が22億66百万円増加したこと、現金及び預金が31億2百万円減少したこと、退職給付に係る資産が28億6百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は512億43百万円で、前連結会計年度末と比べ50億43百万円の減少となりました。これは未払金が10億33百万円減少したこと、借入金金が27億40百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は1,066億58百万円で、前連結会計年度末と比べ35億78百万円の増加となりました。これは利益剰余金が36億29百万円増加したこと、為替換算調整勘定が25億4百万円増加したこと、自己株式取得及び処分により9億74百万円減少したこと、退職給付に係る調整累計額が15億2百万円減少したことなどによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、102億16百万円の収入（前年同期は101億55百万円の収入）となりました。これは税金等調整前四半期純利益83億52百万円、減価償却費60億10百万円、組織再編費用14億77百万円などの計上、法人税等の支払額34億43百万円などによる支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、79億31百万円の支出（前年同期は45億1百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出75億48百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、68億33百万円の支出（前年同期は11億74百万円の支出）となりました。これは、借入金の減少37億30百万円、自己株式の取得による支出10億20百万円、配当金の支払額18億12百万円などによるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ39億79百万円減少の175億70百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月9日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり2021年5月12日に公表いたしました2022年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,688	18,585
受取手形及び売掛金	40,973	40,069
電子記録債権	8,686	11,187
商品及び製品	8,537	8,012
仕掛品	3,458	4,348
原材料及び貯蔵品	6,762	7,501
その他	3,837	3,567
貸倒引当金	△210	△236
流動資産合計	93,734	93,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,714	23,383
機械装置及び運搬具（純額）	20,044	18,197
工具器具備品（純額）	1,509	1,575
土地	6,257	7,097
リース資産（純額）	277	305
建設仮勘定	3,113	5,708
その他（純額）	965	879
有形固定資産合計	54,881	57,147
無形固定資産		
のれん	159	125
その他	1,342	1,642
無形固定資産合計	1,501	1,767
投資その他の資産		
投資有価証券	3,829	3,647
退職給付に係る資産	2,811	4
繰延税金資産	2,109	1,608
その他	556	733
貸倒引当金	△57	△42
投資その他の資産合計	9,249	5,951
固定資産合計	65,632	64,866
資産合計	159,367	157,902

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,104	12,410
電子記録債務	11,655	11,867
短期借入金	5,416	3,741
1年内返済予定の長期借入金	1,085	5,009
リース債務	78	96
未払金	4,685	3,651
未払法人税等	991	167
賞与引当金	1,713	974
その他	7,744	8,856
流動負債合計	46,474	46,775
固定負債		
長期借入金	5,115	125
リース債務	134	144
繰延税金負債	1,153	736
退職給付に係る負債	2,594	2,648
その他	814	812
固定負債合計	9,811	4,467
負債合計	56,286	51,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,990	5,990
資本剰余金	6,584	6,603
利益剰余金	93,372	97,002
自己株式	△7,537	△8,512
株主資本合計	98,410	101,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,318	1,221
為替換算調整勘定	1,815	4,320
退職給付に係る調整累計額	1,535	33
その他の包括利益累計額合計	4,670	5,575
純資産合計	103,080	106,658
負債純資産合計	159,367	157,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	121,148	127,517
売上原価	97,887	103,161
売上総利益	23,260	24,355
販売費及び一般管理費	13,661	14,843
営業利益	9,598	9,512
営業外収益		
受取利息	9	17
受取配当金	60	66
還付加算金	56	63
為替差益	—	100
廃棄物リサイクル収入	20	21
その他	29	36
営業外収益合計	175	305
営業外費用		
支払利息	49	49
為替差損	607	—
休止固定資産減価償却費	20	77
その他	22	9
営業外費用合計	699	135
経常利益	9,075	9,682
特別利益		
固定資産売却益	8	13
投資有価証券売却益	—	4
受取保険金	※1 980	※1 242
特別利益合計	989	260
特別損失		
固定資産除売却損	110	113
クレーム解決金	※2 299	—
組織再編費用	※3 116	※3 1,477
ゴルフ会員権売却損	1	—
特別損失合計	527	1,590
税金等調整前四半期純利益	9,537	8,352
法人税、住民税及び事業税	2,870	2,569
法人税等調整額	447	341
法人税等合計	3,317	2,910
四半期純利益	6,219	5,442
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,219	5,442

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
四半期純利益	6,219	5,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△97
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△741	2,504
退職給付に係る調整額	△11	△1,502
その他の包括利益合計	△794	905
四半期包括利益	5,424	6,347
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,424	6,347
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,537	8,352
減価償却費	5,930	6,010
のれん償却額	32	33
クレーム解決金	299	—
組織再編費用	116	1,477
受取保険金	△980	△242
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△706	△754
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	△43
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	1	—
固定資産除売却損益 (△は益)	101	100
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4
受取利息及び受取配当金	△69	△84
支払利息	49	49
為替差損益 (△は益)	262	△33
売上債権の増減額 (△は増加)	△125	△782
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△974	△1,039
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,983	△675
未払金の増減額 (△は減少)	△411	△395
その他	1,027	1,418
小計	12,111	13,388
利息及び配当金の受取額	68	85
利息の支払額	△44	△57
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,960	△3,443
保険金の受取額	980	242
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,155	10,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,394	△7,548
有形固定資産の売却による収入	10	41
無形固定資産の取得による支出	△225	△607
投資有価証券の取得による支出	△76	△28
投資有価証券の売却による収入	0	81
事業譲渡による収入	—	279
貸付けによる支出	△2	△59
貸付金の回収による収入	3	4
補助金の受取額	200	42
その他	△17	△137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,501	△7,931
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,500	△2,653
長期借入れによる収入	5,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,193	△1,077
自己株式の取得による支出	△500	△1,020
配当金の支払額	△1,778	△1,812
その他	△202	△269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,174	△6,833
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	569
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,376	△3,979
現金及び現金同等物の期首残高	11,342	21,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,719	17,570

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2020年11月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は1,020百万円（412,200株）増加いたしました。当該自己株式の取得等により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は8,512百万円（5,409,984株）となりました。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これによる、従来の収益認識方法からの重要な変更はありません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準の適用による、当第3四半期連結累計期間の期首利益剰余金に与える影響はなく、損益に与える影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

（連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用）

当社及び国内子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 受取保険金

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

2019年11月に発生した当社の連結子会社 株式会社フジシール(筑波工場)の火災事故に係る保険金のうち、建物及び構築物並びに設備什器等一式に係る保険金であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

2019年11月に発生した当社の連結子会社 株式会社フジシール(筑波工場)の火災事故に伴う利益補填に係る保険金であります。

※2 クレーム解決金

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社製品に対する顧客からのクレームに係る解決金であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

※3 組織再編費用

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

Fuji Seal Switzerland AG(旧: Pago AG)のタック機械事業をFuji Seal Germany GmbH(旧: Pago Etikettiersysteme GmbH)に統合するグループ内組織再編にかかる人員削減費用等であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

Fuji Seal Switzerland AGのタックラベル事業の譲渡に伴い発生した損失を計上しております。

その内訳は、退職給付制度の縮小により発生した損失1,162百万円、棚卸資産評価損187百万円、減損損失127百万円(機械装置他)であります。

なお、組織再編費用のうち、減損損失に係るものは、以下のとおりであります。

用途	場所	種類	金額(百万円)
売却予定資産	Fuji Seal Switzerland AG (スイス/グラス)	機械装置他	127

当社グループは、原則として事業用資産については継続的に収支の管理を行っている管理会計上の事業区分を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産及び処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

上記の資産については、事業譲渡の契約締結に伴いその帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、当事業用資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却価額により評価しております。当該資産は当第3四半期連結会計期間内に売却を完了しております。

（セグメント情報）

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アセアン」の4つで報告セグメントを構成しております。

第1四半期連結会計期間より、欧州におけるマネジメント体制を変更し、従来報告セグメントとして開示しておりました「PAGO」を「欧州」に統合しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

I 前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	67,932	26,118	16,869	10,226	121,148	—	121,148
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,107	1	2,813	1,913	5,836	△5,836	—
計	69,040	26,119	19,683	12,140	126,984	△5,836	121,148
セグメント利益	6,143	2,993	158	681	9,976	△377	9,598

(注) 1. セグメント利益の調整額△377百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	67,544	31,386	18,274	10,312	127,517	—	127,517
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,480	3	2,622	1,651	5,759	△5,759	—
計	69,025	31,390	20,896	11,964	133,276	△5,759	127,517
セグメント利益	6,259	2,994	110	218	9,581	△69	9,512

- (注) 1. セグメント利益の調整額△69百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。
 2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 米州：アメリカ、メキシコ
 欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア
 アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「欧州」セグメントにおいて、組織再編に伴う売却予定の資産に対する減損損失127百万円（機械装置他）を計上しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

以 上